

2026 年 3 月 10 日

東京薬科大学

トランスコスモスと東京薬科大学が 2040 年問題対応に 向けた薬剤師業務の変革推進に関する連携協定を締結

薬剤師業務の効率化を支援する新たなサービスの研究を通じて、地域医療に貢献
DX・BPO の知見を活用し、次世代人材の育成にも取り組む

学校法人東京薬科大学(所在地:東京都八王子市、学長:三巻祥浩、以下「東京薬科大学」)は、このたびトランスコスモス株式会社(本社:東京都豊島区、代表取締役共同社長:牟田正明、神谷健志、以下「トランスコスモス」)と、「2040 年問題対応に向けた薬剤師業務の変革推進に関する連携協定」を締結しました。



【ポイント】

- 教育機関と民間企業が業界の垣根を超えて連携し、それぞれが蓄積してきた経験や知見を活用することで、2040 年問題に起因する人手・資源不足等の地域医療課題の解決を図り、薬剤師業務の効率化を支援する新たなサービスに関する研究を行う
- 薬剤師不足地域における業務改善策の検討や、デジタルトランスフォーメーション(DX)及びビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)の知見を活用した薬学教育プログラムの開発
- 薬学の専門知識と DX・BPO の知見を組み合わせた教育・研究を通じて、変化する医療環境に対応できる次世代人材の育成に貢献

【概要】

今回の取り組みは、教育機関と民間企業という業界の垣根を超えながら連携し、それぞれが蓄積してきた経験や知見を活用することで、地域医療への貢献を目指すものです。

わが国では、団塊ジュニア世代が高齢者となる 2040 年に向けて、医療需要の増大と医療従事者不足が同時進行する「2040 年問題」への対応が喫緊の課題となっています。特に薬剤師不足が深刻化する地域においては、限られた人的資源の中で医療の質を維持しながら業務の効率化を図ることが求められています。

本協定では、東京薬科大学とトランスコスモスが相互に密接に連携し、それぞれの強みや資源を有効に活用することで、2040 年問題に起因する人手・資源不足等の地域医療課題の解決を図り、薬剤師業務の効率化を支援する新たなサービスに関する研究を行います。具体的には、薬剤師不足地域における業務改善策の検討や、デジタルトランスフォーメーション(DX)及びビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)の知見を活用した薬学教育プログラムの開発などに取り組んでまいります。

また、薬学の専門知識と DX・BPO の知見を組み合わせた教育・研究を通じて、変化する医療環境に対応できる次世代人材の育成にも貢献します。

近年、地域包括ケアシステムの構築が進む中、薬剤師には地域医療への積極的な参画と、より幅広い役割の発揮が期待されています。一方で、デジタル技術を活用した業務効率化や、アウトソーシングによる業務プロセスの最適化など、新しいアプローチへの対応も求められています。

東京薬科大学とトランスコスモスは、定期的な協議を通じて連携事項を効果的に推進し、2040 年を見据えた持続可能な地域医療提供体制の構築に向けて、先進的な取り組みを進めてまいります。

【代表コメント】

トランスコスモス株式会社 上席執行役員 高山智司

「この度、2040 年問題対応に向けた薬剤師業務の変革につきまして、東京薬科大学と協定を締結できたことを喜ばしく思います。当社が長年にわたり培ってきた DX・BPO の知見を、薬剤師業務の効率化という新たな領域で活かし、地域医療課題の解決に貢献できることを大変光栄に感じております。また本協定を通じた研究・教育への取り組みが、これからの医療を担う次世代人材の育成にも役立つことを期待しています。」

東京薬科大学 学長 三巻祥浩

「地域医療への貢献を目標に、これからの薬剤師や医療関係者が直面する業務効率化や人材不足といった課題に対して、トランスコスモスの DX・BPO の知見を学生教育や研究に活かしていける場ができたことを大変嬉しく思います。この新たな産学連携を通じて、薬学の専門性と最新のデジタル技術を組み合わせた教育・研究を推進し、変化する医療環境に対応できる人材を育成することで、地域医療の課題解決に貢献してまいります。」

【報道に関するお問い合わせ】

東京薬科大学 入試・広報センター

〒192-0392 東京都八王子市堀之内 1432-1

電話:042-676-4921

E-mail:kouhouka@toyaku.ac.jp